

卓 話

「吉本譲二の武勇伝」 吉本 譲二 会員



吉本譲二。昭和30 年12 月24 日、未年。山羊座。九紫火星。血液型はB 型です。 出身は山口県宇部市。宇部商業高校の情報処理科卒業。

宇部商業高校を選んだ理由は、校風が自由であること、甲子園に行けると思ったこと、新 設科ができるという事でこれからの時代はコンピューターだと、面白そうなので受験した ところ残念ながら合格してしまった。

そして高校生活が始まり早速後悔する。

この情報処理科は、大学に行きたくない、あるいは良い所に就職したいという、すなわち 進学校に行かない子ばかり集まっているクラスで、私はその中でも高校三年間ずっとビリ2 でした。ビリにもビリ3 にもなった事がないため、卒業式の当日は担任からシャレで全生 徒の前で特別表彰を受けることとなり、その時の私はまさに英雄でした。

そんな私の高校生活を彩ったのは、バイクとバイト、そして一番狂ったのがフォークソングでした。仲間2名とスリーピースというグループを作り、自分たちで客を集めていろんな会場を借りては99円コンサートと名付けて手作りのコンサート行っていました。そこそこファンもつき文化祭などでも活躍したりと、学校の授業より熱中したものです。大学は西南に行きたかったが、大学より来ないでくれと言われ断念。とりあえず学校に行きたかったため、当時姉の友人の美容師に散髪をしてもらっていたこともあり、その影響で進学先に美容学校を選び、東京の代々木の山野愛子美容学校に入学。

高校も商業高校だったため女生徒は多かったが、美容学校の女生徒の人数は比べ物にならず、それもみんなメイクとおしゃれをしてくるので、とても幸せで楽しい学校生活を送ったなと記憶に残っています。

美容学校卒業時は高校時代とは180 度変わり、卒業証書授与。すなわち総代でした。 高校時代でビリ2 をキープしていた私が本物のヒーローになった瞬間でした。

そして、まだ当時20歳くらいの私がこの時真剣に思ったのは、この美容業界ではちゃんとやれば天下が取れるということでした。現在、天下が取れたかどうかはわからないですが、そこそこにやれたんじゃないかと自負しております。

それから修業時代、計8回渡英しましたが初回の渡英は昭和57年2月。

まだソ連上空は飛べない、1 ポンド500 円くらいの時にアンカレッジ経由(アラスカ)で20 数時間かけてヒースロー空港に到着し、ロンドン、ヴィダルサスーンのアカデミークラスの 1 ヶ月コースに入学。全くお金がなかったため、通訳もつけず、持ち前の根性とキャラクターとボディランゲージのみで1 ヶ月をしのぐ!!

26 歳になったばかりの若さゆえにできたことだと、当時を思い出すと今でも感心します。 帰国後、九州一円を業界のメーカー、ディーラーと組んで講習活動に勢を出し、いよいよ 1985 年、昭和60 年11 月1 日、満を持して1 号店をオープン。スタッフ4 名、私が30 歳 になる2 ヶ月前のことでした。

半年から1年は苦戦しましたが、年に一度ヴィダルサスーンのカットコンテストが横浜 アリーナで開催しており、丁度オープンの年に3度目の出場で上位入賞を果たし、当時九 州の美容業界では少しばかり有名になり、業界紙からの取材が来たり、最後には西日本新聞に掲載され、それを機に上昇気流に乗りました。

現在F・C12 店舗、G・S 関東を含め14 店舗!!

オープン時、1 年間は資金繰りに大変苦労しましたが、我々の業界は現金商売であるため、 その日の売上は必ず銀行の通帳に入れることを絶対とし、それでいわゆる支払い等、お金を 回すことを覚えました。

私の格言「お金は使わなければ貯まる。」

そんな私も2026 年12 月末をもって代表を退任し、75 歳まで取締役として会社を見守る 予定です。その後は相談役かな?!

満を持してオープンした1 号店から始まったこの会社も本年11 月1 日に丸40 年を迎えます。この40 年を振り返ってみれば我武者羅に仕事して大変だったなあと、しかし苦労したとは一度も思ったことはなく。

40 年大変なことも沢山あったが、経営とは愉快で楽しいもんだとつくづく思う。

吉本譲二の座右の銘 運 縁 恩

オレンジコーポレーション 経営理念 変化と改革

社訓 強い気持ち優しい心

以上。







11月誕生者

瀧山会員 (11月 3日) 高田(徹)会員 (11月 3日) 宮近会員 (11月17日) 平川会員 (11月19日) 平田会員 (11月26日)



11月10日(月)18:30~ ホテル日航福岡 日本料理「弁慶」

参加者は、主役の吉本さん、合瀬さん、武藤さん、吉村さん、森山さん、榊会長、吉田の7名でした。

本日の卓話者吉本さんの30分のお話 しがあまりにも素晴らしかったの で、しばらくは卓話のお話しで盛り 上がりました。

賑やかなメンバーが多かったせいか 内容も豊富で、美味しい和食に舌鼓 を打ちながらのあっという間の2時間 半でした。

太田さんありがとうございました。

Fテーブル会報告

